

基本的な考え方

当社は、取締役会の実効性を高めることを目的に取締役会の実効性評価を実施しています。評価にあたっては、取締役及び監査役全員を対象に、取締役会の構成、運営及び議題への評価・分析並びに自由回答欄において課題を確認するアンケート調査（全18問）を行い、取締役会事務局にて集計及び分析を行い、当該結果に基づく課題や改善点について取締役会において議論しております。

2025年3月期に関する実施結果

2025年3月期における当社取締役会においては、結果としては当社の取締役会は十分に実効性を発揮していると評価することができました。詳細といたしましては、前回に引き続き取締役会向け資料の拡充や取締役会での発言のしやすさに関しまして評価を頂いております。今後はさらに、全体的な評点を鑑み継続して実効性向上に向けた取組みを行っていく必要がございます。特に改善が必要な事項といたしましては、関連資料の拡充と審議時間の確保となり、取締役が取締役会に対してより充実した意見を述べることのできる状況を構築するために継続して対応を行っていく所存です。

前回の取締役会実効性評価（2024年3月期）を踏まえた改善

前回の課題	改善内容
取締役会に提出される資料は内容・分量の観点で適切か。	改善傾向にあるが、わかりやすい資料を早期に提出できるように改善を続ける
取締役会で各役員が積極的に意見を述べているか。	改善傾向にあるが、発言しやすい場を作るべく資料の早期提供を進める